

CONTENTS ◆地域風景資産選定 ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢の歴史を訪ねて
◆春のつどいレポート ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

「鷺草伝説ゆかりの奥沢城址のある風景」 が第3回地域風景資産に選定されました。



奥沢城址の土塁



浄真寺の鷺草園



八幡中学校にある鷺草伝説を伝える壁画

土とみどりを守る会では、奥沢の風景を次世代に継承していくために、世田谷区地域風景資産への登録を推進しています。「大ケヤキのある散歩道」、「奥沢海軍村ゆかりの風景」にひきつづき、このたび、「鷺草伝説ゆかりの奥沢城址のある風景」が世田谷区地域風景資産として選定されたことをご報告いたします。会としては今後、九品仏浄真寺、学校や町内会などと連携し、このすぐれた風景を伝承していくための活動を推進していきます。(堀内)

推薦文

九品仏浄真寺の敷地が、もともとは「鷺草伝説」の舞台となった奥沢城であったということは、あまり知られていません。浄真寺の境内には奥沢城址の土塁が残されており、かつての武蔵野の自然を今に伝える、すぐれた風景資産です。

奥沢6丁目あたりの「鷺の谷」という旧地名が示すよう、奥沢城周辺の湿地帯にはかつて鷺草が自生しており、それが鷺草伝説が生まれた背景です。奥沢城址の土塁のほか、九品仏浄真寺の鷺草園、八幡中学校の鷺草伝説の壁画、元湿地帯の風景を継承するねこじゃらし公園などをめぐれば、鷺草伝説に思いを馳せることができます。鷺草の展覧会などの取り組み、3校連携「さぎそう学舎」での教育といった、鷺草伝説という歴史がむすぶ地域の活動もあり、風景資産としての登録を推薦いたします。

おくさわ今と昔

(このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方、新しく移ってきた方々など、毎回住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただきます。)

「奥沢での生い立ちとこれから」 奥沢3丁目 福田 詔三

昭和19年生まれの私は、今年古希を迎えます。戦時中に奥沢の町も空襲に見まわりましたが、子供の頃、近所には空襲あとの空き地がまだたくさんあり、遊び場にはこと欠きませんでした。まだテレビの無い時代で、遊びはもっぱら空き地の原っぱで夕方までゴムボールでの野球や凧揚げ、石蹴り等、今思うと楽しいことばかりでした。また、小学校四年生より始めた押切道場での柔道も、中学校まで続け、体力的にも自信になったように思います。高校を卒業後、大学に通いながら家業の米屋を手伝い始め、今年3月で父が創業して75年の店を閉めました。たくさんの方の地域の皆様に支えられたことを心より感謝申し上げます。

さて、土とみどりを守る会への参加するきっかけは、私達商店街活動の一環として地域整備事業で、自由通りの歩道整備の際のレンガを敷いたインターロッキングとガードレールに植栽をするロードトレリスを実施したことです。その時ガードレールに植栽することで自動車の騒音を減らす効果があると聞き、植物が景観や癒しだけではなく、別の効果もあることを教わりました。自分たちが住む町の人口が増えるにつれ、緑が減っていくことへの危機感もあり、私自身ができることを実行できればと思っています。

①毎月第2日曜日、朝8時より10時まで、NPO法人マングローバル(前PIA)主催で行っている自由通り清掃、植栽の手入れです。これは東京都の「ふれあいロード」プロジェクトの活動です。

②奥沢本町商店会として「世田谷区みどりと花いっぱい協定」に参加し、商店街の中で花壇を設置出来る店を募集し、年2回花の植え替えをしています。

③奥沢小学校5年生を対象とした食育授業の「田植え」、「稲刈り」、「もちつき(収穫祭)」等1年を通して土作りから行っております。

商売柄、地方の米の産地を訪れることも多く、農家さんより米作りを教えていただき、地方の里山風景の素晴らしさは地域の人たちの共同作業によって成り立っていると聞き、都会でも地域の人達がもっと自主的に動くことで、地域がより良くなればと思

っております。交和会で、今後立ち上げる町の美化運動も、参加できる人が一人でも多く集まり、できることから始めるといいと思います。今後の「土とみどりを守る会」の活動に期待いたします。

「街の色」

奥沢2丁目 平井 彰子

奥沢へ移り住み、はじめに珍しかったのが「踏切」です。二丁目は多くの踏切に囲われた場所でしたから驚きました。なにしろ生まれ育った麻布では踏切なんぞ見たことない、電車だって地中の奥深くです。今年は一子一孫の娘がめでたく成人するから、その2年前のことですなあ。

静かな奥沢は遠くの踏切や電車の音が耳に届きます。「私は此处で死ぬのだわ」とコロコロコロと楽しそうに笑う祖母が居ました。窓からいっぱい陽の入る和室や大きな掘炬燵で「話」をしてくれます。嫁に来てから初めての転居だとか、自分はせっかちだから人に厳しい、だとか聴いたかなあ。

生まれた街の六本木・麻布界隈は交差点あたりを中心には賑やかですが、奥まるとそうでもないところ。殊のほか緑が多いし、土日なんて自由ヶ丘とは比べ物にならないほど静かでのんびりした空気、良い街なのです。じゃあ、夜と昼ではどうなのだよと言われて、毎朝、昨夜の喧噪はどこへ行ったのやら、ひっそりと静かでしたねえ。子供でいながら、秘めやかな、うそつきな、夢を見る街を茶化しながら見ていたような気がします。

ここ奥沢は真っ当なイメージでこれまた魅力的な街です。父は母と散歩をしたり、お買い物に出かけたり、こっそり孫を連れて美味しいものを食べるにかけたりしていました。

ここには大きなビルがない、首都高がない、なんだか牧歌的にも感ずると楽しんでいましたね。江戸からの老舗などに出向いて遊んでいましたが、奥沢は拠点に相応しいものだねと、on・off切り替えていたようです。

青い空と、家々の間の緑、グレーがかった夕暮れが、二つの拠点で以外にも相通ずる「色」でしょうか。東横線で繋がって、南北線でも繋がれる六本木・麻布に祖母と父は眠っています。夜は賑やかでゆっくり眠ってもいられないのかしらん。

奥沢の歴史を訪ねてⅧ 奥沢近辺の城址と地名②

(私たちの住むまち奥沢の成り立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介していきます。)

奥沢城に関しては多々述べて来たので、少し奥沢に縁のある世田谷区内に残る城址について調べてみたい。まずは世田谷城址。城主は吉良氏。

源義家の子孫、三河の国守護職足利義氏は長男長氏(ナカツ)を三河国吉良荘西条城に、次男泰氏に下野国足利荘の足利宗家を継がせた。この足利宗家から後に室町幕府を開いた足利尊氏が生まれた。西条吉良は高家として十数代続くが、忠臣蔵の事件でお家断絶となる。

長氏の子の一人国氏は今川氏となったが、義元の時織田信長に敗れ、次の代の氏真で後北条氏に取って代わられた。

長氏のもう一人の子義継の家系は東条吉良氏、或いは奥州探題又は奥州管領として暫く奥州にいたので奥州吉良氏とも言われたが、その後南北朝対立の行き掛かりで上野国に移った。足利治家の時、鎌倉公方足利基氏に認められ、世田谷に領地を貰い、世田谷城を造ったと言われている。

吉良氏は鎌倉公方、関東管領、今川氏等に続き、将軍家に跡継ぎがいなくなった場合は将軍を継ぐ事が出来る程の家柄であり、戦国大名達からも一目置かれていた。その為か吉良氏は二度しか戦った事がなく、世田谷城も川越城の扇ガ谷上杉朝興に一度だけ攻められた記録があるだけである。武田信玄は滝山城・小田原城攻めの時に世田谷を通過している。秀吉の小田原城攻めの折、八王子城を落とした前田氏等の北方面軍が世田谷を通過して小田原に向かった可能性はあるが、城は明け渡され、廃城になったようである。

東条吉良氏は成高(シゲノ)時代に横浜市南区蒔田町の蒔田(マタ)も領地とし、世田谷・蒔田の両城を主城とした。武田信玄来攻時には夫人(高源院、北条氏綱娘)が蒔田城を守ったと記録されている。それ程重要な城であったので、世田谷城との間の多摩川に宮内の渡しがあり、そこから上ったところに奥沢城を築いたのではないかとされている。

蒔田城→泉澤寺(中原区小田中)→宮内の渡し(多摩川、川崎市中原区宮内)→籠谷戸(三方を囲まれた谷地形の谷戸だが、そこに江戸時代籠細工を生産する籠場があった。室町時代には田園調布雙葉迄多

摩川の水が来て入り江になっていた)→伝乗寺(裏にある宇佐神社は源頼義が1051年安部一族を平定しに行く時小山(現尾山台)に陣を張り勝利を誓い、1063年平定後に八幡社を建て、神に勝利を報告したと伝えられている)前の寮の坂→奥沢城→世田谷城がほぼ直線上に並んで連絡路となっていた。

鎌倉三道と言われる上道(西道―武蔵国分寺造営時の古道)、中道(矢倉沢往還―世田谷村を通る)、東道(下道―池上を通る平間街道)からは裏道にあたる。この道は当時日常的に使われていただろう。ただ、多摩川を渡り、陸揚げするのは大変だったろうと思われる。

世田谷城は北の武蔵野台地が岬のように張り出したところにあり、南側は烏山川が湾曲して流れている。烏山川は小さい川だが、その周りは例によってかなりの湿地帯で、人でも馬でも大変攻めにくい。このことは奥沢城とよく似ている。北側にも台地を切って北沢川があり、島状になってもいる。山城を造れない南関東では台地の上の城造りとして適した場所といえる。続く(赤松)

(世田谷城址)



(豪徳寺(江戸名所図絵) 右下に「吉良氏城跡」記載がある)

春のつどい報告

今回はいつものお話と音楽とは違う春のつどいとなりました。

つどいの企画を議論している中で、今までと同じやり方で良いのかという疑問から、会活動全体の見直し議論に発展しました。その結果会に参加される方々と十分な話し合いのできる場を設けて、皆さまの会に対するご意見をお聞きしたうえで、活動のあり方を考えて行くことになりました。

とはいえこのような硬い議題で、討論が上手く進むか不安でした。堀内代表から、議論進行の専門家であるファシリテーターの助けを借りる提案を受け、角田知行さんを紹介してもらいました。

懇談会は次の様に進みました。

第一部は「これまでの会活動を振り返って」で堀内代表が発足時からの活動経過をスライドで説明しました。参加者はスタッフを除いて25人、堀内代表のお話を丸く取り囲んで聞きました。

第二部の懇談会では5人ずつのグループ丸テーブルを囲み、お茶とお菓子を楽しみながら、テーマを設けず、20分間話し手を次々に引き継いで、お話しの内容はこの場限りとして、自由にお話し

てもらいました。今度はテーブルのメンバーを変えて、また同じ20分の懇談をしました。

懇談会后、全員にアンケート用紙をお渡しし回答して頂きました。設問は、①「今日ここで、どんなことを感じましたか？どんな発見がありましたか？」②「今後、この会の活動として取り組んでみたら？と思うことはありましたか？あなたのアイデアをお聞かせください。」

参加者の殆どは初めての顔合わせでしたが、すぐにお互いに打ち解けあい、親しく話合いが進みました。またアンケートへの回答も示唆に富んだものが多く、今後検討に大いに役立つと思います。

今回は初めての経験ですが、今後第2回の開催も含め検討をしていきたいと思っています。（鈴木）



(角田イニシエーターとグループ懇談)

活動報告

- 春のチェリーセージプランターのメンテナンスを3月21日と23日に行いました。2月の大雪で枝が折れた株が目立ちましたが、雪と寒さに鍛えられたチェリーセージはいつもより赤味が強い花を見せています。
- 「鷺草伝説ゆかりの奥沢城址のある風景」が地域風景資産に選定されたので、定例会でチェリーセージの次は「サギソウプランター」を九品仏まで配置しようという提案がありました。一方そもそもサギソウは継続して栽培することが非常に難しいので無謀だという意見もありました。そこで殆どの栽培経験のないスタッフ4名に球根を買い与え、栽培してみることになりました。8月の開花の成績が楽しみです。

会からのお知らせ

- ミニ園遊会を、5月17日（土）11時30分（雨天決行）よりシェア奥沢（奥沢2-32-11堀内宅）で開催します。皆様のお越しをお待ちしています。
- NPO法人土とみどりを守る会の総会を、ミニ園遊会に先立ち10時30分から開催します。会員の皆様には出欠の葉書をお送りしましたので、総会欠席の場合は委任状に捺印の上ご返送下さい。今回はシェア奥沢の室内開催のため、雨天でも実施します。

- 土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える年会費は1口1,000円です。活動に直接参加されなくても、会活動を継続的にご支援頂けると幸いです。どうぞ御協力をお願い致します。入会のご連絡は下記へどうぞ。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 5701-5901
世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126
世田谷区奥沢 2-18-6 鈴木 仁 3723-6659
ホームページ : <http://tsuchimidori.net>
e-mail : info@tsuchimidori.net